

教育、民生常任委員会  
報 告 書

平成 2 6 年 1 1 月 1 3 日

美 里 町 議 会

教育、民生常任委員会

## 1. 政策研究に関する事項

### 「国民健康保険特別会計および介護保険特別会計の保険給付費を 減額するための対策」

## 2. 目的

健康を維持したいという意識は高まり、それに取り組んでいる町民も多くなっている。しかしながら、今後高齢化社会をむかえ国民健康保険特別会計および介護保険特別会計における保険給付費の支出は増えてくることが懸念される。支出が増えれば保険料にはねかえり町民への負担が増え、健全な会計の維持に大きく影響することが危惧される。

よって、保険給付費を減額するための対策が必要であり調査・研究することとした。

## 3. 経過

3月11日	政策研究事項を確認する。
4月14日	今後の取り組みについて協議する。 予防事業に力を入れて取り組む必要があることを確認する。 本町の「国保税」・「介護保険料」の状況と全国との比較などの調査。
5月26日	所管事務調査について。
5月29日	所管事務調査について。
6月17日	所管事務調査視察内容の検討について。
6月23日	本町の介護保険事業の実態について、健康福祉課担当職員と意見交換を行う。
7月16～18日	予防対策を重点とした取り組みを行っている「和歌山市」と「松阪市」へ視察・研修を行う。
7月30日	所管事務調査のまとめと今後の取り組みについて協議する。
8月18日	介護保険事業について、健康福祉課担当職員と実態など意見交換を行う。
9月29日	議会報告会の資料作成と今後の取り組みについて協議する。
10月30日	本町における体育施設の利用状況について、まちづくり推進課担当職員と意見交換を行う。
11月13日	平成26年度政策研究調査報告書について協議する。

#### 4. まとめ

本委員会は、「国民健康保険特別会計」および「介護保険特別会計」における保険給付費の減額対策として、予防を重点とした対策を講ずることが給付費の支出を抑え、さらにはそれが町民の健康維持につながることを確認した。

それには、まず町全体で取り組むということを基本に据え、正しい知識の普及や健康づくりを意識づける場の提供と、生活習慣や健康状態を向上させることを目的とした、さらなる施策の展開を進めると同時に、高齢者が参加しやすい環境づくりが必要である。

また、認知症予防と対策についても町全体で取り組むことを基本に据えて対策を講ずる必要があると考える。

以上の事から、下記事項を提言し、町当局に対し政策に反映されるよう強く要望する。

#### 記

##### 1. 健康づくり

体育施設の利用しやすい環境づくりを行いながら、65歳以上の利用料無料化の実施。

健康応援フェアの開催。

健康づくり事業への参加によるポイント制の導入。

##### 2. 認知症予防と対策

早期発見のため、対話式タッチパネルを用いたスクリーニングの実施。

みんなで支える町づくりのために、サポーター養成講座(子どもを含む)の開催。

徘徊者の早期発見と保護のため、事前登録の推進と公的機関や医療機関等の情報を掲載したマップの作成。

なお、実施するにあたり財源については、「後期高齢者医療制度特別対策事業費補助金」など活用されるよう望みます。